

朱鷺^と色^きのはばたき



はばたく姿に感動——

淡い朱色の美しい翼を広げ、佐渡の空に再びトキが戻ってききました。

昭和56年、野生のトキ5羽が人工飼育のため一斉捕獲され、佐渡の空から姿を消しました。それから27年。

繁殖の試みも成功には至らず、平成15年、トキ「キン」の死で日本産トキは絶滅という悲しい道をたどりました。しかし、平成11年に中国から贈呈されたトキ「友友」^{ヨウヨウ}「洋洋」^{ヤウヤウ}ペアの人工繁殖が成功すると、トキの数は次第に増え始め、120羽を超えるまでになりました。トキを野生に帰すためのさまざまな取り組みは、たくさんの方の力で幾多の困難を乗り越え、平成20年9月25日、試験放鳥を迎えました。

試験放鳥には、トキが空を舞う姿を心待ちにした多くの方が見学に訪れました。木箱から放され、美しく、力強く飛び立ったトキは、私たちと共に暮らす身近な存在となりました。

トキと人が共に暮らしていけるよう、豊かな自然環境をつくり、保全していく取り組みが必要です。人と自然が共生へと一歩を歩みだしました。